平成25年３月19日

各 位

会 社 名　株式会社アサンテ
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　宗政　誠
（コード番号：6073　東証第二部）
問 合 せ 先　常務取締役経営企画室長　飯柴　正美
（電話番号：03-3226-5511）

東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成25年３月19日に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

【単体】　（単位：百万円、％）

決算期 / 項目	平成25年３月期（予想）			平成25年３月期第３四半期累計期間（実績）		平成24年３月期（実績）	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売上高	11,879	100.0	106.1	9,485	100.0	11,199	100.0
営業利益	2,047	17.2	106.1	2,070	21.8	1,929	17.2
経常利益	1,998	16.8	105.1	2,052	21.6	1,900	17.0
当期純利益	1,146	9.7	114.1	1,232	13.0	1,005	9.0
１株当たり当期純利益	108円87銭			117円37銭		95円72銭	
１株当たり配当金	20円00銭			―		15円00銭	

（注）１．当社は連結財務諸表を作成しておりません。
２．平成24年３月期（実績）及び平成25年３月期第３四半期累計期間（実績）の１株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。
３．平成25年３月期（予想）の１株当たり当期純利益は、公募予定株式数1,000,000株を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しておりますが、新株予約権の行使による増加見込み数は反映しておりません。

本資料に記載されている当社の業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は業界環境の変化やリスク要因の顕在化を含む様々な要因によって異なる場合があります。

平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年3月19日

上 場 会 社 名　株式会社アサンテ　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　6073　ＵＲＬ　http://asante.co.jp/
代　表　者　(役職名)　代表取締役社長　(氏名)　宗政　誠
問合せ先責任者　(役職名)　常務取締役経営企画室長　(氏名)　飯柴　正美　(TEL)03(3226)5511

四半期報告書提出予定日　―　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第３四半期の業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

(1) 経営成績（累計）　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	9,485	―	2,070	―	2,052	―	1,232	―
24年３月期第３四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	117.37	―
24年３月期第３四半期	―	―

(注) １．平成24年３月期第３四半期は四半期財務諸表を作成していないため、平成24年３月期第３四半期の記載及び平成25年３月期第３四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。
２．潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、新株予約権はありますが、当社株式は平成25年３月期第３四半期においては非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	9,362	5,990	64.0
24年３月期	8,820	4,913	55.7

(参考) 自己資本　25年３月期第３四半期　5,990百万円　24年３月期　4,913百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	0.00	―	15.00	15.00
25年３月期	―	0.00	―		
25年３月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年３月期の業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、対前年増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,879	6.1	2,047	6.1	1,998	5.1	1,146	14.1	108.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

４．その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：有

④ 修正再表示　：無

(注)詳細は、添付資料３ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年３月期３Ｑ	10,500,000株	24年３月期	10,500,000株
② 期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	― 株	24年３月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年３月期３Ｑ	10,500,000株	24年３月期３Ｑ	10,500,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

この資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現性を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(1) 経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2) 財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(3) 業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・・・・・・ 3
３．四半期財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(1) 四半期貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(2) 四半期損益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
(3) 継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
(4) セグメント情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・・・・・・・・・・ 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、景気後退局面にありました。そうしたなか、個人消費についても、足元では弱い動きとなっております。

当業界におきましては、東日本大震災以降、自然災害に対する既存家屋の保全意識は一層の高まりを見せており、これが当社事業にとってプラスの影響を及ぼしました。

このような状況下において、当社は優秀な営業人員の増員、育成に努め、白蟻防除を中核とした施工サービスの販売力向上を図ってまいりました。また、白蟻被害に関する報道向けセミナーの開催、自社ホームページにおける「シロアリ注意報」の公表等の広報活動を通じて、当社並びに当社のサービスに対する認知度向上に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は9,485百万円、営業利益は2,070百万円、経常利益は2,052百万円、四半期純利益は1,232百万円となりました。

(セグメント別の概況)

ＨＡ事業（ハウスアメニティー事業）におきましては、売上がピークに達する時期に向けて、人員の増強を図るとともに新聞折込やＣＭ放送等の販促活動を集中的に展開した結果、主に白蟻防除、床下等換気システム、家屋補強・補修の販売が好調に推移いたしました。この結果、同事業の売上高は9,316百万円、セグメント利益（営業利益）は2,821百万円となりました。

ＴＳ事業（トータルサニテーション事業）におきましては、取引先法人等における経費削減意識の高まりから年間契約の更新停止や契約額減額が発生し、低調に推移いたしました。この結果、同事業の売上高は168百万円、セグメント利益（営業利益）は９百万円となりました。

(経営成績に関する特記事項)

当社の売上高及び利益は、第２四半期累計期間に偏重する傾向があります。これは、例年５月をピークとして４月から７月頃まで、白蟻の活動が活発化し、ＨＡ事業における白蟻防除関連の受注件数が増加するためであります。この季節的変動により、四半期会計期間末ごとの財務内容、経営指標にも変動が生じます。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第３四半期会計期間末における資産は、前事業年度末比542百万円増加し、9,362百万円となりました。主な要因は、売上の増加等により現金及び預金が592万円増加したことによるものであります。

負債は、前事業年度末比534百万円減少し、3,372百万円となりました。主な要因は、短期借入金が105百万円増加しましたが、法人税等の支払いにより未払法人税等が340百万円減少、１年内返済予定の長期借入金が173百万円減少、賞与引当金が142百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末比1,076百万円増加し、5,990百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が1,074百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の55.7%から64.0%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社を取り巻く市場環境といたしましては、ＨＡ事業につきましては、東日本大震災以降、家屋の耐久性に対する関心は高まりを見せており、当期においてもその傾向は持続しております。加えて、当期において南海トラフ地震の広域被害予想が報道発表されるなど、防災に対する行政の取り組みもあり、潜在的ニーズは予想以上に拡大していると見込んでおります。但し、主要サービスである白蟻防除関連の売上高は例年５月をピークとして４月から７月の売上構成率が高く、反対に12月～２月は同率が低くなります。この傾向についても例年同様、変動はないと見込んでおります。また、ＴＳ事業につきましては、年間契約の更新停止や契約額減額前期比減収を新規受注で補えず、前年同期比減収を見込んでおります。以上より、売上高は11,879百万円（前年同期比6.1%増）を予想しております。

営業利益は2,047百万円（前年同期比6.1%増）を予想しております。第３四半期までの推移に対し、総人件費は大きな変動はありませんが、売上高の減少に伴い材料費等の減少を見込んでおります。

経常利益は1,998百万円（前年同期比5.1%増）を予想しております。営業外損益の主な変動要因は、株式上場関連費用33百万円を見込んでいることであります。

当期純利益は1,146百万円（前年同期比14.1%増）を予想しております。特別損益は発生しない見込みです。また、税制改正により、税引前当期純利益に占める税金費用の割合が減少しております。

なお、第３四半期累計期間実績の、通期業績予想に対する進捗率は、売上高が79.8%、営業利益が101.1%、経常利益が102.7%、当期（四半期）純利益が107.4%となっております。

上述の通り、当社は季節性要因により四半期ごとの業績に偏りが生じ、第３四半期累計期間の各段階利益の実績は通期業績を上回って推移いたします。当期におきましては、これを見込んだ上で通期業績予想を達成する見込みです。

２．サマリー情報（注記事項）に関する情報

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う影響額は、軽微であります。

３．四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,957,393	2,550,120
売掛金	1,430,822	1,398,050
製品	59,292	57,452
原材料及び貯蔵品	96,354	109,768
その他	255,229	220,664
貸倒引当金	△2,003	△1,398
流動資産合計	3,797,089	4,334,657
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,203,007	1,167,258
土地	2,952,605	2,952,605
その他(純額)	155,651	162,295
有形固定資産合計	4,311,264	4,282,159
無形固定資産	27,342	26,590
投資その他の資産		
その他	735,198	769,135
貸倒引当金	△50,248	△49,714
投資その他の資産合計	684,949	719,420
固定資産合計	5,023,556	5,028,170
資産合計	8,820,645	9,362,828

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	231,523	232,533
短期借入金	70,000	175,000
１年内返済予定の長期借入金	521,292	348,072
未払法人税等	645,208	304,239
賞与引当金	229,640	86,808
その他の引当金	―	45,000
その他	809,884	804,772
流動負債合計	2,507,549	1,996,426
固定負債		
長期借入金	863,676	827,582
役員退職慰労引当金	415,675	426,860
資産除去債務	57,825	60,306
その他	62,577	61,537
固定負債合計	1,399,754	1,376,286
負債合計	3,907,304	3,372,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	300,000	300,000
利益剰余金	3,997,805	5,072,703
株主資本合計	4,897,805	5,972,703
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,535	17,411
評価・換算差額等合計	15,535	17,411
純資産合計	4,913,341	5,990,115
負債純資産合計	8,820,645	9,362,828

(2) 四半期損益計算書

（単位：千円）

	当第３四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	9,485,450
売上原価	2,565,309
売上総利益	6,920,141
販売費及び一般管理費	4,850,125
営業利益	2,070,016
営業外収益	
受取利息	360
受取配当金	804
受取手数料	2,423
受取保険金及び配当金	10,414
補助金収入	5,610
その他	2,655
営業外収益合計	22,268
営業外費用	
支払利息	15,308
リース解約損	5,597
支払手数料	10,955
その他	7,978
営業外費用合計	39,839
経常利益	2,052,445
税引前四半期純利益	2,052,445
法人税、住民税及び事業税	740,929
法人税等調整額	79,119
法人税等合計	820,048
四半期純利益	1,232,397

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

当第３四半期累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額(注)１	四半期損益計算書計上額(注)２
	ＨＡ事業	ＴＳ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,316,771	168,679	9,485,450	－	9,485,450
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	9,316,771	168,679	9,485,450	－	9,485,450
セグメント利益	2,821,127	9,108	2,830,236	△760,220	2,070,016

(注)１．セグメント利益の調整額は全社費用△760,220 千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。